

＼2・3年生 人権講話 中島シゲ子さんのお話を聴きました／

11月25日（火）、2・3年生はおおだふれあい会館の館長、中島シゲ子さんの講話を聴きました。これは、今年度の人権学習の一環として「自分にやさしく・他人にやさしく～かけがえのない高校生活を送ろう！～」というテーマのもとで依頼した講話でしたが、中島さんには、ご自身の体験を踏まえながら、部落差別の実態や、いじめや差別の残酷さ、また、自分の気持ちを大切にしながら行動すること、対立の際にはやはり話し合いが必要であること等、高校生活を送るうえで大切な視点を多岐にわたってお話しいただきました。

講話後、生徒は、『自分の足を踏まれてみないと、その痛みはわからない』と仰っていたのが強く印象に残った。差別する側はその痛みを知る必要がある。」「さまざまな経験をしてこられた中島さんの言葉には重みがあった。これからの人生もくじけずに、諦めずに、生きていきたいと思った。」など、熱心に感想を記入していました。

ご多用の中、ご来校いただいた中島さんには、心より感謝申し上げます。

